

講演規定

《指定演題の座長（オーガナイザー）・講演者の方へ》

1. 講演時間

セッションにより異なります。事前にご連絡しておりますので、ご確認ください。

2. 機材・受付

デジタル（PC）プレゼンテーションに限ります。詳細は次頁をご参照ください。

《一般講演の座長・演者の方へ》

1. 講演時間

第54回日本眼感染症学会

発表6分（5分：予告ランプ、6分：終了時赤ランプ）

討論3分

1演題9分ですが、発表は6分を厳守してください。

第51回日本眼炎症学会、第60回日本コンタクトレンズ学会総会、第6回日本涙道・涙液学会総会

発表7分（6分：予告ランプ、7分：終了時赤ランプ）

討論3分

1演題10分ですが、発表は7分を厳守してください。

各学会の合同・共通一般講演

発表7分（6分：予告ランプ、7分：終了時赤ランプ）

討論3分

1演題10分ですが、発表は7分を厳守してください。

※時間厳守でお願いします。

2. 機材・受付

<機材>

①デジタル（PC）プレゼンテーションに限ります。

②画像枚数に制限はありませんが、発表時間内に終了するようにご配慮ください。

<受付>

日時：7月14日（金）8:00～18:00

7月15日（土）7:15～18:30

7月16日（日）7:15～16:30

場所：大阪国際会議場 5F ホワイエ PC受付

①演者は、**講演開始40分前までに**、PC受付にて動作確認を行ってください。

②PC受付では、データの修正は出来ませんのであらかじめご了承ください。

3. 講演データの作成について

<講演データの持参（Windowsのみ）の場合>

①本会では、以下のOS、アプリケーション、動画ファイルに対応しています。

OS…Windows 7以降

アプリケーション…Power Point 2007以降

動画ファイル…Windows Media Playerで再生可能なデータ

講演規定

※Macintosh版Power pointでの作成は、映像に支障をきたす可能性がありますので、ご遠慮ください。

※Keynoteは使用出来ません。

- ② 画面レイアウトのバランス異常や文字化けを防ぐために、「MS・MSP明朝」、「MS・MSPゴシック」、「Times New Roman」、「Century」などのOS標準フォントをご使用ください。
- ③ 本会でお持ち込み可能なメディアは、USBフラッシュメモリーまたは、CD-Rのみです。
※メディアには、当日講演に使用されるデータ以外は、保存しないようにしてください。
- ④ プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクされている場合は、必ず元のデータも保存し、データを作成されたPCとは別のPCで事前に動作確認をお願いします。本会でお持ち込み可能なメディアは、USBフラッシュメモリーまたは、CD-Rのみです。
- ⑤ ファイル名には、演題番号・講演者名を以下の例の様に入力してください。
※GK-01 大阪 太郎 のファイル名→GK-01 大阪太郎.ppt
- ⑥ 会場のシステムへのウィルス感染を防ぐため、必ずウィルス定義データを最新のものに更新した状態のセキュリティソフトで、事前にメディアのウィルスチェックを行ってください。
- ⑦ 講演データは、PC受付にておよび会場内のPCに一旦保存しますが、学会終了後責任を持って消去いたします。

<PC本体持参（Windows・Macintosh使用）の場合>

- ① 液晶プロジェクターとの接続には、Mini D-sub 15ピン3列コネクタ（通常のモニター端子）端子が必要となります。PC本体の外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は専用の接続端子をご持参ください。
- ② 液晶プロジェクターの解像度は、XGA（1024×768）です。解像度の切り替えが必要な場合は、PC本体の解像度をあらかじめ設定しておいてください。
- ③ PC本体の液晶画面に動画や画像が表示されていても、実際に外部出力されない場合があります。講演データを作成されたPC本体と当日持参されるPC本体が別な場合は、特にご注意ください。
- ④ スクリーンセーバーならびに省電力設定は、あらかじめ解除しておいてください。
- ⑤ PCアダプターは、必ず各自でご持参ください。バッテリーでの講演は、バッテリー切れになることがありますので、ご注意ください。
- ⑥ 万一の場合に備え、必ずバックアップ用のデータ（USBフラッシュメモリーまたはCD-R）をご持参ください。

4. 進行

- ① 講演者は、座長の指示のもと、講演を行ってください。
- ② 講演者は、**講演開始10分前までに**会場内最前列の次演者席にお着きください。
- ③ 講演データの投影は、オペレーターが講演者の登壇時に行います。講演者は、演台上のモニターで確認しながらマウスを操作し、発表してください。（演台上にPCはありません。）
- ④ 座長は、開始の合図が入り次第、登壇し、セッションを開始してください。

5. 討論

- ① 個々の発表後、個別に討論が行われます。簡潔にご発言ください。
- ② 討論者は、あらかじめ会場内の質問用マイクの近くでお待ちください。